



総会の開会式

第11回総会開く

第11回深澤晟雄の会総会を7月8日沢内バーデ
ンで開きました。総会では
28年度事業報告と決算、
今年度事業計画と予算が
原案通り承認されました。
また、任期満了に伴う役
員改選では、加藤和夫氏を
理事長とする新体制が確
立されました。

深澤晟雄の会 結成十周年に

今年度は生命尊重行政を
推進した深澤晟雄村長就

生命尊重の発信基地 資料館の充実強化も

任から60周年を迎えまし
た。併せてNPO法人深澤
晟雄の会結成10周年の節
目でもあります。そこで深
澤晟雄の会10年の歩みを
検証し、記録に残すことも
に記念式典を開催します。
昨年5月に入館者2万
人を達成した深澤晟雄資
料館は国内だけでなく、海
外からも注目される「生命
尊重の発信基地」として資
料館機能の充実強化も総
会で確認されました。

加藤理事長で

新体制確立へ

新役員は次の通り満場
一致で選任されました。
理事長 加藤和夫(新)
副理事長 佐々木 玄(新)
理事 深澤佳道(再)
理事 高橋 勤(新)
監事 刈田 敏(再)
監事 佐々木 繁子(再)
理事長・副理事長は理事
の互選です。両氏とも理事
は再任で加藤氏は副理事
長から理事長就任です。



町民有志で資料館周辺整備

7月1日午前9時前から深澤晟雄資料館周
辺の草刈りや環境整備が行われました。町民
有志の男女11人で2時間ほどの作業でした。
有志の皆さんのご苦勞に感謝いたします。

佐々木孝道氏逝去

深澤精神の継承に尽力

本会前理事長の佐々木
孝道氏が去る4月9日急
逝されました。
氏は青年時代から生命
尊重の深澤精神に感銘し、
その功績を後世に継承し
ようと尽力されました。

「郷土の偉人 深澤晟雄
生誕の地」と題して自ら経
営する「ぐみのや安全自
工」の敷地内に私費を投
入し、6月から本会理事長
として活躍されました。
皆さんと共に佐々木氏
のご冥福をお祈りします。

資料館の 感想ノートから

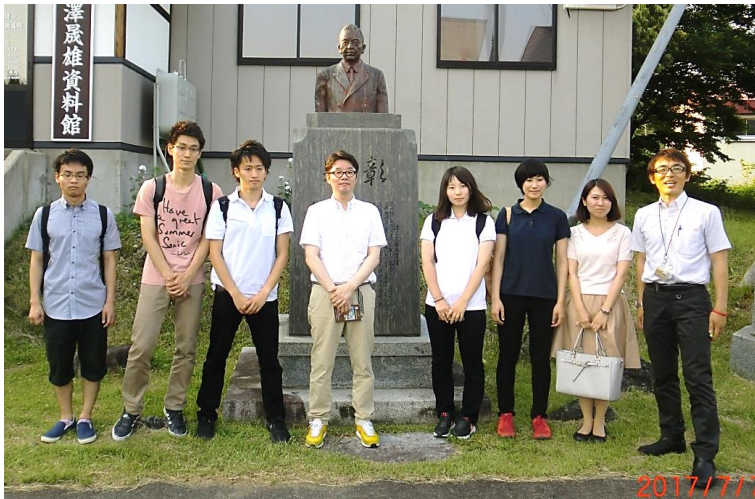
今年度も地域医療研修医や保健医療を学ぶ学生等の入館者が目立ちますが、感想ノートに記入された声をご紹介します。

郷里の歴史と 初心忘れずに

県立中部病院から地域医療実習で参りました。自分の出身地の歴史について改めて学ぶ機会を頂けて良かったです。これまで知り得たことに加えて新たな発見もあったので、岩手の医療に関わる者としてもう一度地元の歴史について学んでいきたいと思えます。今後とも初心を忘れず自覚をもって頑張ります。
(内記和歌子様)

岩手医大から 公衆衛生実習

岩手医科大学医学部3年生の公衆衛生学実習の引率で参りました。7人の将来の医療・保健・健康づくりを担う若い皆さんの心に強く響いたことと思います。私自身も平成9(1997)年に実習で沢内村に伺い、改めて時代を越えて大切にしなければならぬことがあると痛感いたしました。ソーシャルキャピタル



岩手医大3年生の公衆衛生学実習で資料館を訪問された皆さん
(7月7日)

ルII人と人とのつながりが地域を変えていく、動いていくと信じ、これからも若い世代の皆さんと共に進んでいきたいと思えます。
(佐々木亮平様)

全国先駆けの 感銘深い功績

北上の中部病院から地域医療研修で来た初めての訪問です。地域医療で最も重要な保

健活動を全国に先駆けて進めた功績に感銘を受けました。医療人の一人として深澤村長が理想とした医療のお手伝いのできたらと思いました。訪れることができると本当に良かったです。
(小野寺 謙様)

当時の村長の 偉大さに学ぶ

岩手県立中部病院から地域医療研修で来た初期研修医です。戦後の地方自治混乱期に、医療に対してこま

これから1カ月間、西和賀でしっかり研修しようと思いを決意しました。
(幕内大貴様)

現地の視点で 感慨深く見学

岩手県立大学から実習生として西和賀に参りました。将来は保健師として働きたいと考え、深澤村長と保健婦を主導とする先進的な保健活動を学べてとても役立った。授業でもこの活動は学んできたが、実際に足を運ぶとまた違った視点で見られるので本当に来て良かった。
(春日 丈様)

で先進的な取り組みをされた深澤村長の偉大さを学びました。

ご寄付に感謝

長崎県長崎市	飯島 静子様
盛岡市津志田	医療法人ながの盛岡様
花巻市矢沢	菊池 博文様
花巻市太田	金沢 英治様
宮城県仙台市	加藤 邦夫様